

「認知症における剖検脳を用いた検討」 に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

「認知症における剖検脳を用いた検討」

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2023年3月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方

●研究の期間

倫理委員会承認後から2028年3月まで

●研究の目的と概要

アルツハイマー病をはじめとする認知症は、その予防・治療法の開発が必要です。そのためには認知症の病態の理解が必要であり、亡くなりになられた方の剖検脳を使い研究していく必要があります。本研究では、アルツハイマー病を含む認知症者や健常の方の剖検脳を最先端の技術により解析し、認知症病態把握の理解を目指す。

●研究の方法

アルツハイマー病をはじめとする認知症者や健常人の剖検脳検体を用いて、動物由来の様々な抗体、抗血清、その他試薬一般によりAβやタウとともに疾患病態に関連する分子を評価するとともに、超高感度ELISAも含めた生化学解析や、次世代シーケンサーによる遺伝子発現解析などの最先端のアプローチも駆使しながら、探索、解析する。年齢やAPOE遺伝子多型、糖尿病、肥満などの疾患の危険因子の効果についても検討する。

●研究に使用する試料・情報

アルツハイマー病患者及び健常者、その中間の段階を含む症例の剖検脳標本（凍結保

管もしくはホルマリン固定された脳サンプル）・遺伝子情報（APOE遺伝子多型）とそれに付随する診療情報、病情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

国立長寿医療研究センター 分子基盤研究部 篠原 充(研究代表者)

ニューヨーク州立大学バッファロー校 Biomedical Engineering Department

Jonathan Lovell (Associate Professor)

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分にご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）